

## 城西大学水田記念図書館主催講演会 「出版社の仕事」

日時:2018年12月14日(金)13:30~15:00

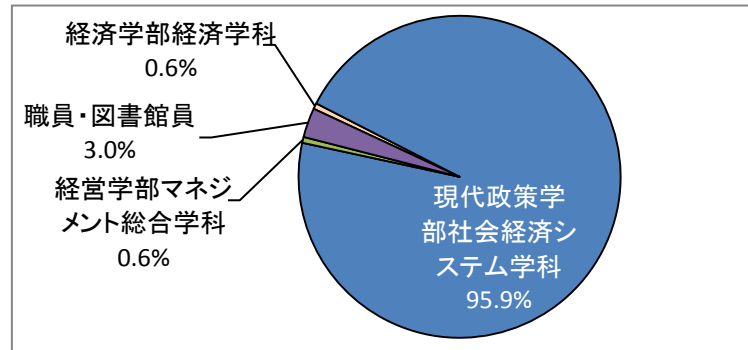
会場:3号館301教室 現代政策学部「キャリアデザイン基礎Ⅱ」と連携

講師:株式会社青土社編集者

参加者数:169名 アンケート回答者:161名(回収率=95.2%)

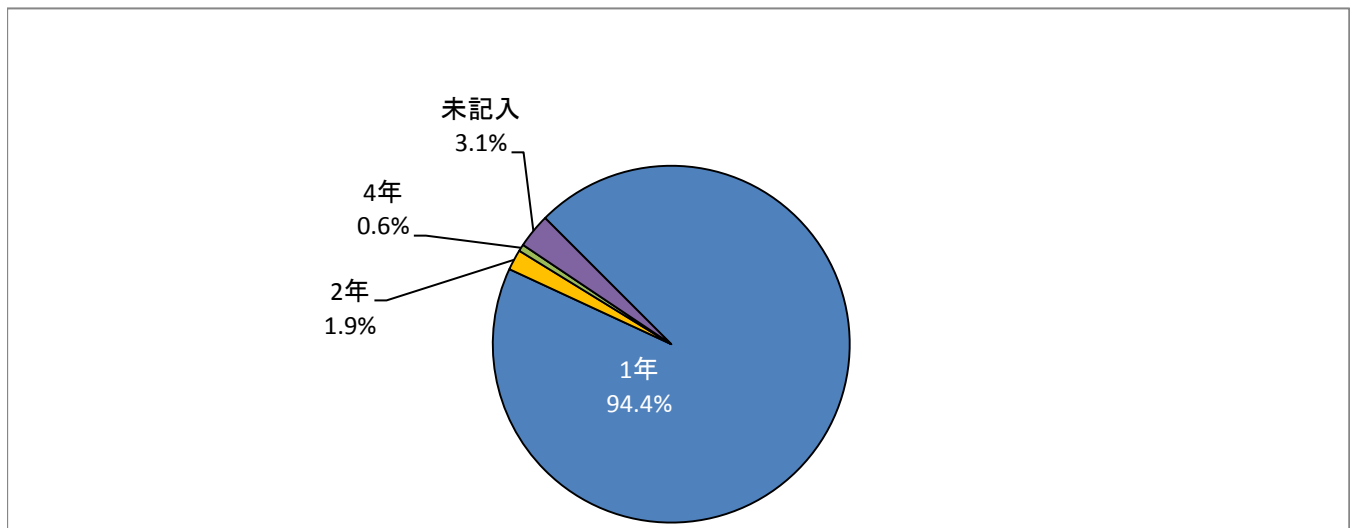
### 参加者数内訳

経済学部経済学科	1
現代政策学部社会経済システム学科	162
経営学部マネジメント総合学科	1
職員・図書館員	5
合計	169



### 回答者数内訳

	単位(人)					合計
	1年	2年	4年	未記入		
現代政策学部社会経済システム学科	152	3	1	5	161	
合計	152	3	1	5	161	

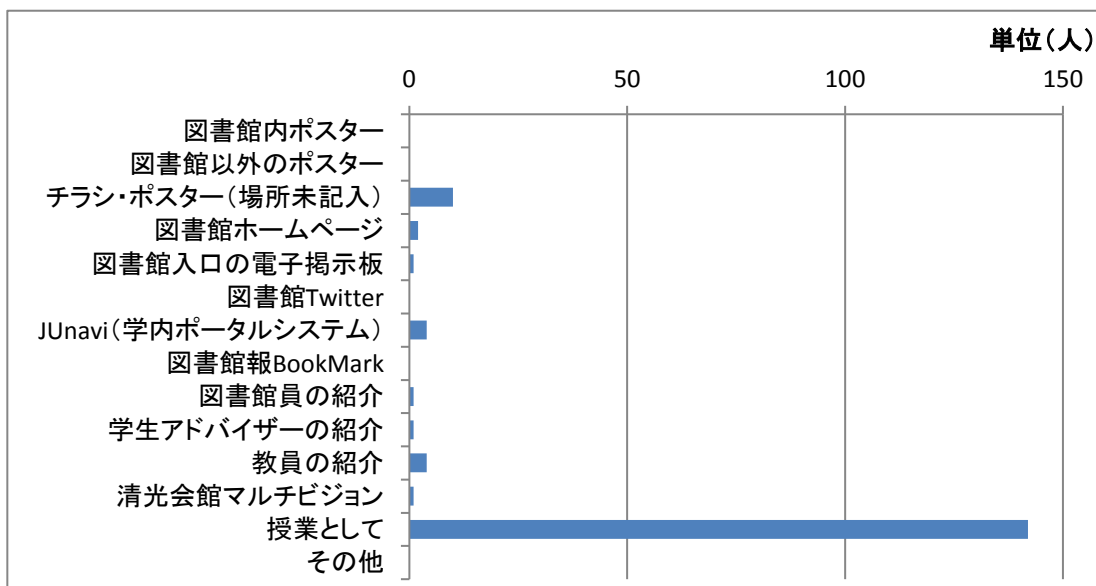


1) 今回の講演会を何で知りましたか？(複数回答可)

単位(人)

図書館内ポスター	0
図書館以外のポスター	0
チラシ・ポスター(場所未記入)	10
図書館ホームページ	2
図書館入口の電子掲示板	1
図書館Twitter	0
JUnavi(学内ポータルシステム)	4
図書館報BookMark	0
図書館員の紹介	1
学生アドバイザーの紹介	1
教員の紹介	4
清光会館マルチビジョン	1
授業として	142
その他	0

単位(人)

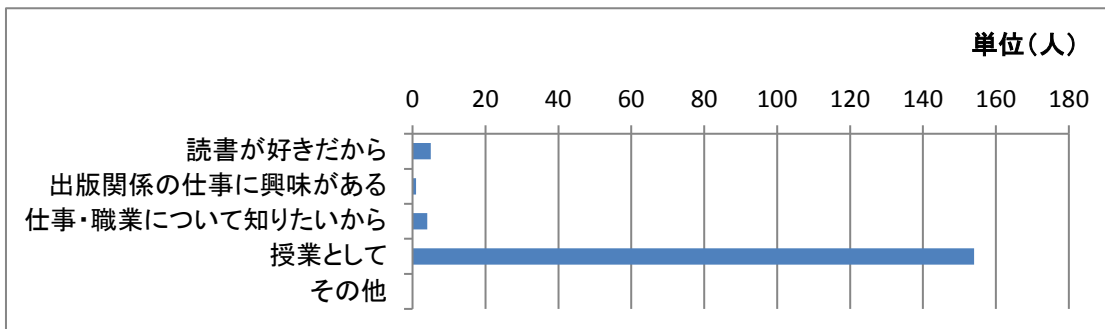


2) 今回の講演会に参加した理由は何ですか？(複数回答可)

単位(人)

読書が好きだから	5
出版関係の仕事に興味がある	1
仕事・職業について知りたいから	4
授業として	154
その他	0

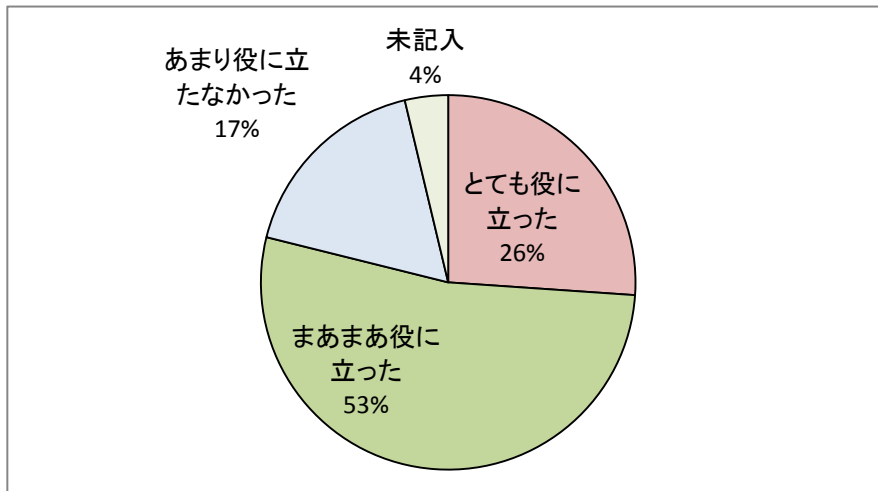
単位(人)



### 3) 今回の講演会は役に立ちましたか？

単位(人)

とても役に立った	42
まあまあ役に立った	85
あまり役に立たなかった	28
未記入	6
合計	161



#### 理由

##### とても役に立った理由

普段目にする事のない出版社の内部を知れたから。(8)  
 興味を持ったらとことん追いかけた方がいいと学んだ。(2)  
 仕事への考え方や取り組み方がためになった。(2)  
 本ができるまでのいろいろな話を聞いて面白かったです。  
 樫田さんのお話しはとても興味深く、今までのキャリアデザインの授業で一番ワクワクしました。ユリイカも現代思想も読みたいと思いました。  
 ファンの思いの強さが必ずしも読者数と比例しないことが、出版社的な視点からは見受けられるということがわかった。  
 もっと図書館を利用したいと思った。  
 学ぶところがあつたから。  
 自分の得意分野が趣味とは違う意外なことだったりする、というのが印象に残ったから。  
 もともと出版社に興味があつたためとても役に立った。  
 自分が経験したことがない話や意見を聞き、とても面白いと思ったから。  
 自分が知らない現代思想のことについて興味を持った。  
 他人の生き立ちが知れた。  
 人文書というジャンルのくくりについて知ることができたから。  
 内容がとても濃く、為になる話が多かつたから。  
 入社3年の方の話はなかなか聞けないと思い、役立つと思った。  
 本を読むのがもともと好きで、より興味を持ったから。  
 話はすごい聞きやすかつた。

##### まあまあ役に立った理由

自分の知らない世界について知ることができたから。(7)  
 出版社、編集部の仕事がよく分かつた。(6)  
 普段手に取らない本の分野について知れた。(5)  
 「自分の好みとは違う好みが出てくる可能性」ということを聞けたから。  
 あまり普段本を読まないが、少し興味がわいたから。  
 たくさんの人たちとかかわるのでコミュニケーション能力の重要性を知つた。  
 企画作りの難しさ、大切さがわかりました。  
 講演者の人生経験を聞いて参考になつたから。  
 最近本を読むようになったから。  
 仕事の説明だけでなく、働いている感想なども聞けたから。

-----  
 事実、今は携帯電話がある。  
 -----  
 自分が図書館を利用するのに役立つものとなるから。  
 -----  
 自分のやりたいことが仕事で必ずうまくやれるとは限らないと知ることができた。  
 -----  
 自分の希望分野ではないが考え方が広がった気がした。  
 -----  
 出版社や編集者によっていろいろな違いがあることがわかった。  
 -----  
 初めて聞く話がありました。  
 -----  
 図書館のイベントに興味を持てたから。  
 -----  
 知らない図書館の知識を知れたから。  
 -----  
 聞いていて面白かったから。  
 -----  
 本の良さがわかりました。  
 -----  
 役に立ったと思ったから。  
 -----

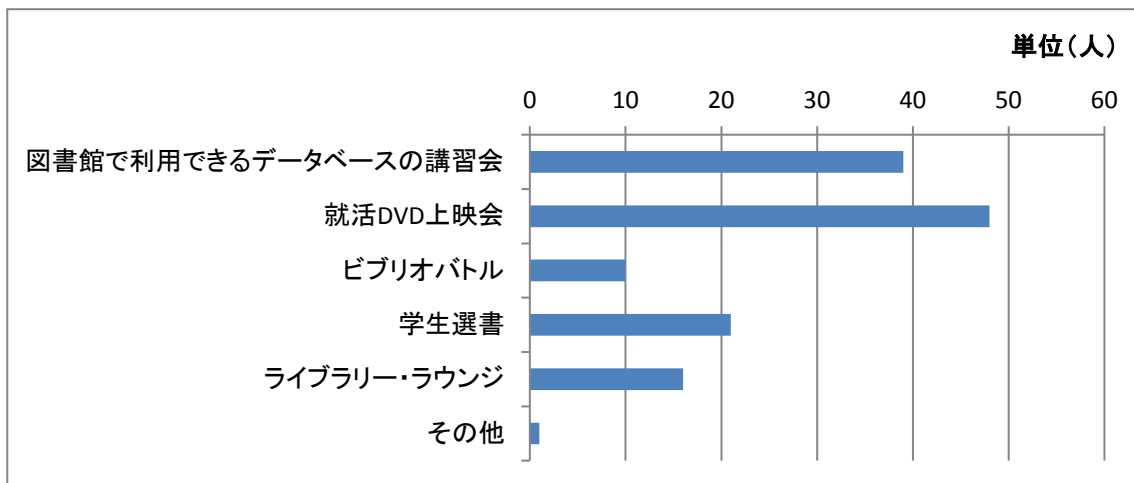
**あまり役に立たなかった理由**

-----  
 興味がなかった。(3)  
 -----  
 話の論点がわからなかった。(2)  
 -----  
 本を読む時間があまりない。(2)  
 -----  
 話が長かった。  
 -----  
 業界が特殊すぎた。  
 -----

**4) 今後、図書館のどのような企画に参加してみたいですか。(複数回答可)**

	単位(人)
図書館で利用できるデータベースの講習会	39
就活DVD上映会	48
ビブリオバトル	10
学生選書	21
ライブラリー・ラウンジ	16
その他	1

**その他内訳 勉強について**



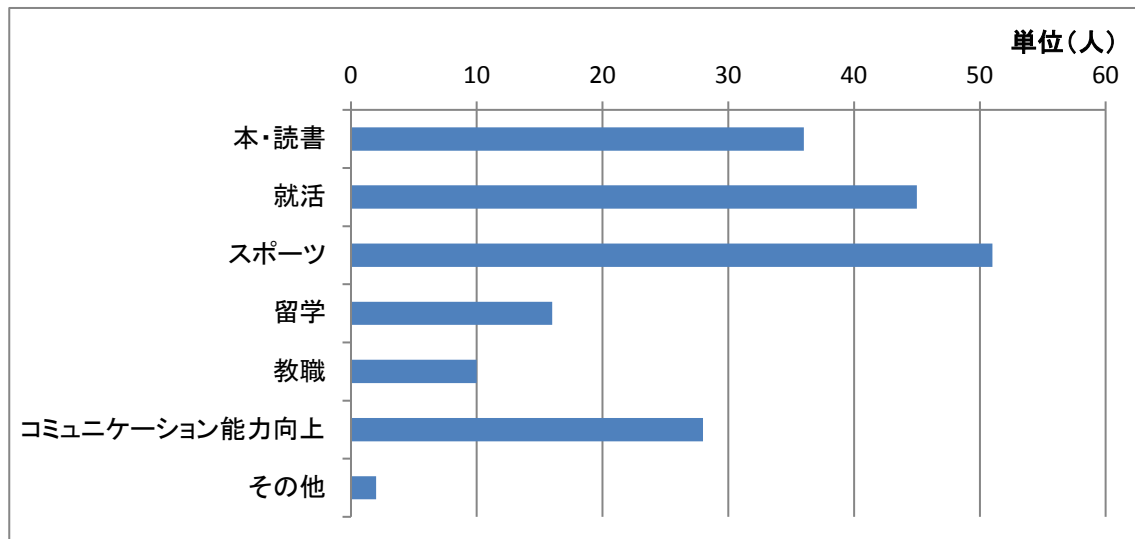
5) 参加してみたい講演会のテーマを教えてください。(複数回答可)

単位(人)

本・読書	36
就活	45
スポーツ	51
留学	16
教職	10
コミュニケーション能力向上	28
その他	2

その他内訳

職業について
心理学について



6) ご意見感想をお書きください

- とてもよかったです。(8)
- 興味深い話を多く聞いたのでとても勉強になった。(6)
- 出版の裏側について知ることができて、とてもいい講義だった。(8)
- あまり詳しくは知らないジャンルの仕事について話を聞いて良かった。(3)
- 本ができる過程がわかりました。一つの本ができるまでにたくさんの工程があったり、大切なこともわかりました。(3)
- 様々な分野にかかわっていて、多様性の大事さについて学んだ。
- 自分の興味のないものに対しても好奇心を持つことができるということに少し興味が持てました。
- 興味のあることに対して詳しく知るといことをしたいと思いました。
- 10年離れていると聞くと遠く感じるが、入社して3年の方の話を聞いて良かったです。出版社関係の話も聞いて良かったです。
- いろいろな本を出版していてとてもすごいと思った。
- インタビューはすべてが無駄にならないということがわかりました
- スライドの文字が小さくてほぼ何も読めなかった。
- テスト期間だけでなく、普段も自分なりに図書館を利用していきたい。
- みんな消極的だと思った。
- もっと深く意識してみようと思った。
- 一冊の雑誌ができるまで、自分が考えていたものよりもすごく手間がかかっていることがわかった。
- 堅いイメージがあった人文書だが、幅広い分野があることがわかった。想像していたよりとっつきやすいものなのかなと思い、興味がわきました。大学時代に関心を持つものを見つけ、それを極めることが大切だなと思った。

何事にも意味はあるということがわかった。

一冊の雑誌ができるまでの流れがわかりました。自分もよく雑誌や本を読んだりするので話を聞けて良かったです。雑誌や本ができるまでとても大変なんだな思いました。

今回の講演で出版社がどのようなものか理解しました。世間ではあまり知られていないようなことについて書いて読者に知ってもらうことに感心しました。世間の盛り上がりに合わせていると自分の好きも広がるという言葉は感動しました。

もともと読書が好きだったが、大学に入ってから全く読書の時間を持っていませんでした。しかし今回の講演を聞いて本を読みたいという気持ちになりました。樫田さんの話はボキャブラリーの多さとか選ぶ言葉が面白いなと思いました。スライドも文字が多かったけど分かりやすく、授業という感じが全くありませんでした。人文書というものに触れてこなかったが読みたくなってきました。活字に触れたいくなりました。心理や哲学に興味があることもそうだが、一番大きな理由は樫田さんが携わった本を読みたくなったからです。出版社の編集者という仕事に興味がありました。私も山田孝之に会いたいです。

今までこういった話を聞いた経験がなかったので今日はこの話を聞いて良かったです。好きなことを仕事にするのが必ずしも良い事ではないということが学べました。

自分はあまり小説を読まないけど、読んでみようと思った。「この世界の片隅に」とか。

仕事のすごさは理解できたが、少し退屈に感じた。

講演ありがとうございました。しかし、何を伝えたいのか話題が変わりすぎて、結果的に何を取り入れてよいのかちょっとわからなかったです。

自分にあまり関係ないと思って興味を持たなかった分野についてよく分かった。

自分は合わないと思う。違う世界だと思った。

講演者さんの個人情報が多すぎるように感じた。「学生に何を伝えたいか」をもう少し絞って行ってもよかったように思う。最後の重要な部分が早口になってしまっていた。

自分の目次立てが認められ喜んでいて矢先に肝心の依頼が先輩任せになっていたり、自分自身の生存戦略が大事といったことや、自分の趣味や好きなことから外れている意外なことが得意分野になっていたり、出版社での仕事も何があるのか分からないということなどがよくわかりました。様々な実体験や著名人の取材の裏話も聞いて、何事もうまくいくことばかりではない、とも思いました。

出版社がどんな仕事をしているのか全く知らなかったが、実際に働いている人の実体験の話が多く、仕事内容がよく分かり、聞いていて面白かった。

出版社でのマーケティングや本に対しての意識や認識が、世代によって違いが出ることに少し興味が出た。

就職するうえで大切なこと、大変なことなどを知ることができてよかった。

「好き」を仕事にすることの厳しさを知ることができた。自分も「好き」を仕事にできるよう努力したい。

編集者の仕事について、細かい部分を知ることができました。自分の好きなことを仕事にできるということは良いなと感じました。自分自身もスケジュールを立てることが苦手なので、できるようになりたいと思うようになりました。今の社会で何が起きているのか知るために、自分のアンテナを常に開いて他人のアンテナも接続していきたいと思いました。

定期的に本を借りて読みたくなった。

自分は広報委員会に所属していて、編集局に所属しているので、雑誌ができるまでなどとても身近に感じた。他人のこれまでの人生ややってきたことなどを聞くことはとても役に立った。出版者がどのように働いて本が作られているのか理解できた。「ユリイカ」の雑誌だけでなく、他の小説や漫画などを担当している現場も見て、聞いてみたいと思った。今日の図書館主催の講演会を聞いて「ユリイカ」を読んでみようと思った。それから就職についてのことや大学院など自分のこれからの関係する話も聞くことができたのでとても良かったです。

人文書というワードを初めて知ることができました。書物の大事さも実感しました。ユリイカという本の名前を知ることができました。ユリイカを後で読んでみようと思いました。

人文系の雑誌にも幅広く分野があることを知ったので少し読んでみようかなと思った。

話が長かった。

図書館のことをより詳しく知ることができた。

若い方のお話を聞けてとてもためになった。

知らない話題や本など興味が持てました。今度読んでみます。

自分はコミュニケーションが苦手なので今回の講演の内容を自分に生かしてコミュニケーション能力をつけていきたいと思いました。

編集者という普段何気なく読んでいる本を構成する職業について、裏側やそれに懸ける思いの強さを聞くことができ貴重な機会であった。哲学でフランス留学から出版社へ入社したいきさつは気になった。

自分の知っている人の特集をしていて少し興味を持ちました。本をもっと読んでみようかと思いません。

特集の面白さを理解することができた。また、有名人にも会うことができるという魅力があることもわかった。

特集を組むまでの過程には様々なことが必要であることがわかった。

本が好きで、よく読んでいたので参考になった。

本が大切になるときが多いから、聞いておいてよかった。

本のあらすじを書くのは大変だと思う。直観を磨くという言葉はとても印象的だった。

本の良さがわかりました。ありがとうございました。

本を好きになることで社会的視野が広がっていくことがわかった。

本を作るということが大変で、でも楽しく面白そうに行っていることがわかった。

本の編集についての仕事にはほとんど興味がなかったのですが、別の世界を見るという意味ではとても面白い講義だった。歳もあまり離れているわけではなかったため、話が聞いていて飽きない上に理解しやすかった。

かみ砕いて話してくれて、働いて楽しいと思えることをたくさん聞けて、自分も大学で得た知識を生かして仕事ができればいいなと思った。

編集者の話を聞くのは初めてだったのでとても新鮮だった。

専門的な話もあってよかったのですが、もう少しゆっくり話していただけたらもっと多くのことがわかったかなと思います。

様々なジャンルの人に会えて、いろいろなことを学ぶことができるいい職業だと思った。

流行のアンテナを広げて、自分の好きなものを取り入れた仕事をしてみたいと思いました。

自分の得意分野で仕事をしていく難しさややりがいについて学ぶことができたので、自分の就職活動に生かしていきたいと思いました。

ユリイカという本についてわかりました。

ユリイカはとても好きな雑誌なので図書館のコーナーに残してほしいです。

わかりやすかった。